# ILC の物理と測定器



2010年7月13日 LC 推進委員会

## ILC 実験の基本理念 事象をファイマン図を見るがごとくに見、散乱行列を測るように測る

#### 事象を基本粒子 (q, l, gb) レベルで再構成する



 二次、三次バーテックスの検出 薄く高分解能なバーテックス検出器
 Particle Flow Analysis 高分解能飛跡検出器 超細密カロリメター

**不感領域の無さ** 10 mrad あるいはそれ以下まで HCAL も含め全てソレノイド (B>3T) の内側

#### 事象をファイマン図を見るがごとくに見る

#### 偏極ビームでファイマン図を選択する



高エネルギーで対称性が回復すると 右巻き電子ビームに対し  $\sigma_{WW} \rightarrow 0$ 



タイムライン



### **International Large Detector** 設計理念実現には LHC の1桁上を行く性能が要求される

#### ILD 測定器案



Letter of Intent (LOI) に向けた測定器コンセプト・グループ再編 GLD (アジア中心) + LDC (ヨーロッパ中心) -> ILD (2007秋) ILD の特徴: TPC + 細密 CAL -> PFA によるジェットモードでの基 本粒子 (W/Z/t/H..) 再構成を目指す





2009年3月末 LOI 提出 2009年9月 IDAG による承認 2012年末 DBDR 提出へ



物理作業部会(含む理論)+ACFA-SIM 東北、KEK、東大、明治学院、日本歯科、信州、富山、神戸、広島 測定器の詳細を組み込んだフルシミュレーション

- 標準模型:全チャンネル・サンプル(標準 BG サンプル)
- 50M事象 @ 250/500 GeV
- CPU:1500 コア×3ヶ月
- データ量:70TB (DST:1TB)
- ビーム・バックグラウンド







物理作業部会(含む理論)+ACFA-SIM 東北、KEK、東大、明治学院、日本歯科、信州、富山、神戸、広島 測定器の詳細を組み込んだフルシミュレーション

- 標準模型:全チャンネル・サンプル(標準 BG サンプル)
- 50M事象 @ 250/500 GeV
- CPU:1500 コア×3ヶ月
- データ量:70TB (DST:1TB)
- ビーム・バックグラウンド





物理作業部会(含む理論)+ACFA-SIM 東北、KEK、東大、明治学院、日本歯科、信州、富山、神戸、広島 測定器の詳細を組み込んだフルシミュレーション

- 標準模型:全チャンネル・サンプル(標準 BG サンプル)
- 50M事象 @ 250/500 GeV
- CPU:1500 コア×3ヶ月
- データ量:70TB (DST:1TB)
- ビーム・バックグラウンド



# PFA 性能



#### TABLE 3.2-3

Jet energy resolution for  $Z \rightarrow uds$  events with  $|\cos \theta_{q\bar{q}}| < 0.7$ , expressed as,  $rms_{90}$  for the di-jet energy distribution, the effective constant  $\alpha$  in  $rms_{90}/E = \alpha(E_{jj})/\sqrt{E_{jj}/GeV}$ , and the fractional jet energy resolution for a single jets,  $\sigma_{E_j}/E_j$ . The jet energy resolution is calculated from  $rms_{90}$ .

# MPGD 読み出し TPC

LC-TPC アジア・グループ

広島大学、KEK、JAXA、近畿大学、工学院大学、Mindanao SU-IIT,

長崎先端研、佐賀大学、清華大学、東京農工大学

ILC 飛跡検出器性能目標 既存のコライダー測定器の飛跡検出器性能を大幅に越える

超高運動量分解能: **σ(1/pt) ~ 2 - 5 ×10<sup>-5</sup> GeV<sup>-1</sup>** ジェット中での高い飛跡検出効率 + カロリメタークラスターとの1対1 対応 (PFA) カロリメター性能のため前置物質量を最小化すること (PFA) dE/dX 測定 (4%)

#### ILC 用 MPGD 読み出し TPC の候補

<u>アナログ **TPC**</u>

GEM + 巾細パッド読み出し: LC TPC アジア・グループ MicroMEGAS + 抵抗皮膜アノード読み出し: デジタル TPC

**Ingrid-MicroMEGAS + Timepix** 

ガス増幅揺らぎによる分解能劣化がないパッド角度効果による分解能劣化がない

→ 理論上最高の位置分解能が期待できるが未検証



GEM 100um this



運動量分解能の実証

LP Beam Test at DESY

Micromegas



#### KEK、JAXA/ISAS、東北、東北学院

#### ILC VTX の目標性能

高分解能かつ低物質量の バーテックス検出器の開発  $\sigma_{\rm IP}^{2=} a^{2} + [(b/p) sin^{3/2} \theta]^{2}$ 

	LEP	SLC	LHC	RHIC -II	ILC
a [µm]	25	8	12	13	< 5
b [µm GeV/c]	70	33	70	19	< 10

#### 第1回FPCCD Prototype

- 12μm ピクセルサイズ
- 512x512 pixels
- ▶ 6.1mm<sup>2</sup> イメージエリア
- 4ch /chip
- 各チャンネル128(V) x512(H) pixels
- 何種類かの異なったタイ プの出力アンプ
- ▶ 浜松ホトニクスで製造



#### 読出しASIC

- Amp, LPF, CDS, ADC, and LVDS driver
- 2 ADCs/ch が交互に 動作して高速化
  - 最大サンプリング速度 ~ 10 Msamples/s
  - Charge sharing SAR ADC → 低消費電力 0.35µm CMOS







#### FPCCDセンサーのR&D

6 µm 画素サイズ
フルサイズ (10x65 mm<sup>2</sup>)のプロトタイプウェ ファー
ウェファーの薄型化 (~50µm)
読出しエレキ
フロントエンドASIC
クロックドライバー

■データ圧縮回路

#### **Engineering study**

■低物質量のラダーおよび支持機構 ■冷却システム (~-60 ℃) ■アラインメント



これらのR&DをTDP-II (by mid 2012)に行う必要がある



CALICE Asian Group 神戸、信州、筑波、新潟、東京、Kyongpook KEK には 2004 以降主立った活動なし

#### ILC CAL の性能目標

PFAのための超細密性

有効セルサイズ <= 1cm x 1cm のサンプリング・カロリメター

- タングステン-シンチ・サンドイッチ構造のサン プリング・カロリメター
- 有効セルサイズ<1cm x 1cm を実現するための</li>
   シンチレータ・ストリップ構造
  - 膨大なチャネル数 (~10M for ECAL, ~4M for HCAL)
  - -> コスト軽減のため

引き抜きシンチ + 小型光センサーを使用

Multi-Pixel Photon Counter

新型半導体光センサー 浜松との共同開発





#### **CAlorimeter for** the Linear Collider Experiment

281 phys and 12 c

281 physicists/engineers from 47 institutes and 12 countries coming from the 3 regions (America, Asia and Europe)





#### **CAlorimeter for** the Linear Collider Experiment

281 ph and 12

281 physicists/engineers from 47 institutes and 12 countries coming from the 3 regions (America, Asia and Europe)





更なる MPPC R&D ■ダイナミックレンジ ■長期安定性 ■放射線耐性

#### シンチレータ・ストリップ

■5mm 幅ストリップの開発

- ■反射材の改善
- ■製造工程の最適化

読み出しエレキ
 高度に集積された読み出しチップの開発

キャリブレーション機構 ストリップ・クラスタリングのアルゴリズム開発.....

これらのR&DをTDP-II (by mid 2012)に行う必要がある

# ILC 建設に向けて

#### ILD タイムライン

エロプ

素粒子物理学の展望/KEK ロードマップ

	近111				
2009	2010	2011	2012	2013	
LHC	3∕pb? 7 TeV Minimum bias, QCD	200/pb? 600GeV sq, 200GeV stable sl, 1.5TeV Z'	1/fb? shutdown 1TeV sq/gluino, 160GeV H(WW/ZZ*)	-> 14TeV? 2	0/fb? 120Ge\ Η(γγ)
ILC Technic	al Design Phase-I		Т	DR提出	•
ILD Tech	nnical Design Phase-I		D	BDR提出	•
学術創成	最終	報告 継続/新規?			•
	TDP-I Repor	t と連動			•
E	LHC からの結果を踏まえ フルシミュレーション	た物理のシナリオ更新と	測定器の最適化	ILD DBDR	·画 認?
ILD LOI 採択!	測定器開発研究(国際協	ンフ) 素核研は 2008年 MOAに署名 MPGD 端 表面実数	CD) 、読み出し、… 加 D) と 部検出器 予	l速器 TDR ともに建設 ·算要求へ	
素核研 ILC グループは ILD メンバー	CALICO Calorimeter for ILC	日本では 大学チーム 中心 MPPC、S	またが出て Strip) 予 S-S、読み出し、… が	算要求に耐えるレベルの要 の完成度、コスト評価の信頼 必要!	素技 項度

# Main Milestones



#### Simulation / Integration WS, July 6-8, 2010 @ DESY

